

ポイント① ベートーヴェン

1770年	ドイツのボンに生まれる
1792年	21歳よりウィーンにて作曲活動開始
1800年頃	30歳頃。聴力を失う
1808年	交響曲第5番 発表
1827年	死去



「交響曲第5番」は、私が作曲した、オーケストラのための楽曲だ。日本では「運命」と呼ばれているようだ。

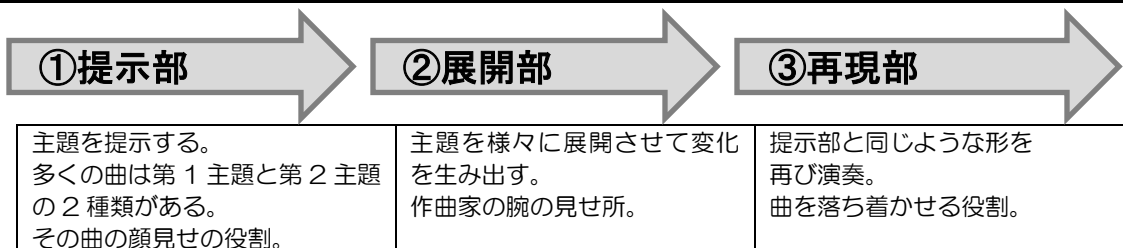
ポイント② 動機の変化



←第1楽章では、この動機（楽曲を構成する最小要素）が様々な展開していく！

音を少し変えたり、演奏する楽器の組み合わせを変えたり…

ポイント③ ソナタ形式



⇒このような構成をソナタ形式と呼ぶ！

交響曲第5番 八短調では、第1楽章と第4楽章がソナタ形式。

★()は自分で埋めてみよう！

- ♪ 「交響曲第5番」は () の作品。
クラシック音楽の中でも最高傑作の1つ！
- ♪ 「交響曲第5番」第1楽章は、冒頭の () が様々な手法を用いられ複雑に展開していく！
- ♪ 「交響曲第5番」第1楽章は、提示部、展開部、再現部で構成される () 形式！

曲名	演奏形態・演奏者など
作曲者	
年代・国名	
感想, 課題など	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>課題例①</p> <p>この曲は日本では「運命」と呼ばれていますが、あなたなら何と副題をつけますか？ 副題と、そう名付けた理由を説明しましょう。</p> <p>課題例②</p> <p>「交響曲第5番」の「運命」という愛称は、ベートーヴェンが1楽章の動機について、「このように運命は扉をたたく」と弟子に語ったとされることに由来します。あなたなら、1楽章の動機やその変化を聞いて、何をイメージしますか。自由を書いてみましょう。</p> </div>	

自己評価

①	A	B	C	D
②	A	B	C	D
③	A	B	C	D
④	A	B	C	D

コラム オーケストラって？

主に弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器で編成される、とても大きな合奏形態だよ。
 規模は曲によってもちがうけれど、15~20種類くらいの楽器を、何十人も的人数で演奏するんだ。
 オーケストラの楽曲は、旋律やリズムなどだけでなく、楽器の組み合わせや強弱・演奏技法の組み合わせで、様々な表情を複雑に表現できるという魅力があるよ。

【解答】

ベートーヴェン

動機

ソナタ